

海賊対処の第34次派遣部隊がアデン湾に向け出航

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第34次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のために派遣される第34次水上部隊の出国行事が7月28日（日）に開催され、部隊が乗艦する護衛艦が呉基地（広島）から出航した。

石川将司艦長指揮の下、護衛艦「さざなみ」が任務にあたる。部隊は、隊員約180名並びに海上保安官8名により編成されており、現地に到着次第、先に派遣された第33次水上部隊の護衛艦「あさぎり」に替わり、護衛活動を開始する。

式典では、防衛大臣訓辞を杉本孝幸呉地方総監が、自衛艦隊司令官訓辞を湯浅秀樹護衛艦隊司令官がそれぞれ代読した。

当協会からは川崎汽船 綾清隆常務執行役員、飯野海運 荒木俊雄専務執行役員、商船三井 遠藤充執行役員、NS ユナイテッド海運 藤田透執行役員ほか8名が、国際船員労務協会からは今田俊介副会長ほか1名が出席した。日本船主協会、国際船員労務協会の両協会を代表し川崎汽船 綾清隆常務執行役員より派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

（海務部）

出国行事



防衛大臣訓辞を代読する杉本呉地方総監



自衛艦隊司令官訓辞を代読する
湯浅護衛艦隊司令官



出航準備完了報告する石川艦長



当協会代表の綾常務執行役員



花束を贈呈する綾常務執行役員



「さざなみ」に乗艦する派遣隊員



出航する「さざなみ」



護衛艦を見送る両協会出席者